

カードで見る防災袋の中身！

イラスト付きのカードで防災袋をチェック。必要なアイテムを楽しく確認しよう！

左上にチェックボックスがあるからチェックしてみてね

携帯トイレ

衛生面も安心！携帯トイレは災害時の頼れるアイテム

ヘッドライト

両手を使える！暗闇での作業に大活躍のヘッドライト

ヘルメット

頭を守ることで命を守る。災害現場で必須のヘルメット

レインコート

雨の日も災害時も安心！両手を使えるレインコートは必需品

ホイッスル

声よりも速くまで響く！緊急時に役立つホイッスル

タオル

汚れも応急処置もお任せ！災害時に万能なタオルを備えよう

水

災害時に欠かせない命の源。飲料水だけでなく生活用水にも使える水を備えよう！

マスク

粉じんや感染予防に活躍！マスクで環境に応じた備えを

ゼリー・飲料等

手軽に栄養補給！ゼリー飲料をはじめ食品は緊急時の強い味方です

ローリングストックについて

ローリングストックとは、日常で使う食品や生活用品を多めに買い置きし、使いながら定期的に補充を繰り返す備蓄方法のことです。期限切れを回避しながら、必要な備蓄を維持することができます。

災害時に役立つ14種類の備蓄品を紹介しています。一つ一つ具体的に確認し、チェックを入れながら不足しているものを補い、いざという時の備えを万全にしておきましょう。

応急手当用品

けがの応急処置に対応！いざという時に備える必須アイテム

モバイルバッテリー

通信や情報を維持する備え！停電時の心強いモバイル電源

ゴミ袋

防寒や収納にも使える！ゴミ袋は災害時の万能アイテムです

乾電池

電源切れでも安心！多用途に活躍する乾電池で備え万全

常備薬

災害時も普段どおりに安心。使い慣れた常備薬をしっかり準備

ペットの防災も必須です！食事や排せつ物の処理準備は、防災マップで詳しくチェックを

※紹介した備蓄品以外にも、災害時に役立つアイテムはたくさんあります。詳しくは、防災マップや防災備蓄ナビをご覧ください

市が考える防災について

災害はいつ起きるかわかりません。そのため、日ごろから備える習慣をつけることが大切です。とはいえ、「備蓄品を揃えるのって面倒だな」「何から始めればいいのかわからない」という声もよく聞かれます。特に若い世代や一人暮らしの世帯では、そう感じる方もいるのではないのでしょうか。そうした場合には、飲料水や普段使う食品を少しずつ買い足して、使った分を補充する「ローリングストック」がおすすめです。無理なく日常の延長で備蓄できる方法なので、ぜひ、取り入れてみてください。

また、高齢者の方は「備蓄の準備や管理が負担だ」と感じることもあるかもしれません。その際は、市が提供する防災情報を参考にしたり、近所や家族、地域コミュニティと協力しながら準備を進めることで負担を軽減できます。大切なのは、一人で抱え込むのではなく、周囲と協力し合うことです。

市では、だれもが安心して災害に備えられるよう防災情報や支援を提供しています。まずは「自分にできる備え」から少しずつ始めてみましょう。

市が提供する防災用品のあつせん情報は こちらから

防災マップ「みんなの安心ガイド」

避難所 避難場所 マップ

※1 中町三丁目暫定広場は庁舎建設予定地です。庁舎建設工等により一時避難場所として適さなくなった場合は、指定を解除します。
※2 小金井第一小学校は、建替え工事の状況により使用に制限がある場合があります。近隣の避難所の利用もご検討ください。

地域(避難者)の皆さんにお願いしたいこと

避難所には多くの方が避難すると予想され、人手が必要です。地域や市、学校が協力して運営し、安心できる場所にするためには、皆さんの理解と協力が不可欠です。避難所運営へのご協力をよろしくお願いします。

Wi-Fi マーク

災害時の情報収集や通信確保を目的に、市内の災害拠点施設で防災公衆Wi-Fiサービスを提供しています。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

避難所

災害により家屋が被害を受け、居住ができないと判断した場合に避難して生活する場所

一時避難場所

ようすを見るため、いつか避難する場所(学校の校庭など)

広域避難場所

火災が広範囲に及んだとき、熱や煙、有毒ガスなどから身を守る、延焼の危険のない場所

大地震発生時の対応

地震発生 最優先で身の安全を確保

状況確認&余震に備える

① 火元を確認する(火を消す)
② 出口を確保する(扉や窓を開ける)
③ 家族の安全を確認する
④ 靴や厚手のスリッパを履く
⑤ 正しい情報を入手する

⑥ 漏電・ガス漏れに注意する
⑦ 避難する場合は、電気のブレーカーを落とす
⑧ 近所の状態、近所の人の安否を確認する
⑨ 動ける余裕があれば、救出、救助、消化活動などを行う

火災や倒壊など危険が迫っている？

火災や倒壊など危険が迫っている？

大丈夫 → 在宅避難

危険 → すぐに避難！！

在宅避難：災害時にも自宅で生活ができるよう、安全対策と備蓄を進めましょう

避難：広域避難場所、一時避難場所

自宅の被害？

危険で住めない → 避難所

避難所：一般的な避難所での生活が困難な要配慮者

福祉避難所：要配慮者に対し、医療や介護等必要なサービスを提供する場所
※避難所でトリアージされた要配慮者が搬送される場所で、直接避難はできません。

在宅避難

在宅避難とは、災害時に自宅で安全かつ安心して避難生活を送る方法です。このためには、まず自宅が安全であることが欠かせません。家屋に倒壊や火災の危険がなく、浸水被害時にも居室が浸水深より高い場所にあることが条件です。また、食料や水、携帯トイレなどの備蓄を十分に準備しておくことが重要です。加えて、自宅周辺のリスクを災害発生前に防災マップなどを使って確認しておきましょう。住み慣れた自宅で避難生活を送ることは、ストレスを軽減し、長期的な生活を安心して続けるための有効な選択肢となります。事前の備えで災害時の在宅避難をより安全なものにしましょう。

自宅周辺の浸水リスクや最寄りの避難場所等について、事前に市防災マップで確認しましょう。

市防災マップをダウンロードできます

災害伝言ダイヤル 171

171 にダイヤル

音声ガイダンスによる案内

録音は 1 再生は 2

音声ガイダンスによる案内

被災地の方の電話番号をダイヤル

※固定電話の場合は、市外局番から入力

音声ガイダンスによる案内

ガイダンスに従い録音(再生)

市役所の開庁時間は、原則平日午前8時30分～午後5時です。(正午～午後1時除く)
各種申し込みは、開庁時間または各施設開館時間内にお願ひします

新庁舎の情報はこちらから確認できます